



ロイドレジスタージャパン 株式会社
LLOYD'S REGISTER JAPAN K.K.



ロイドレジスタージャパン株式会社 (LRJ) は、幅広い分野のニーズにお応えするため専門性とネットワークを活かし、CSR・サステナビリティ、食品安全、自動車機能安全、企業実務支援業務を行っております。



【サステナビリティ】
ロイドレジスタージャパンは、豊富な実務経験、国際スタンダード等への深い理解、国内外のネットワークに基づき、貴社の状況やご要望に基づいた最適の形でのご支援を提供、貴社の企業価値向上に貢献いたします。



【お問い合わせ】
TEL 045 670 7443
FAX 045 670 7446
〒220-6010
横浜市西区みなとみらい2-3-1
クイーンズタワーA10F

サプライチェーン労働・人権監査（実務）研修



【CSR】 サプライチェーン労働・人権監査（実務）研修（2日間）

日時：2019年5月28日（火）－5月29日（水）（10:00-17:00, 2日目は16時30分まで）

会場：シティラボ東京（住所：東京都中央区京橋3丁目1-1 東京スクエアガーデン6階
京橋環境ステーション内）<https://citylabtokyo.jp/access/>

サステナビリティ
研修コース

国連ビジネスと人権に関する指導原則、英国現代奴隷法など、サプライチェーンにおけるCSRは、今や避けることのできない課題となっています。その手法としてCSR調達が脚光を浴び、多くの企業が自社事業所やサプライヤーに対して、何らかの調査、確認プロセスを導入することへの期待が高まっています。

この一環としてCSR監査の実施は徐々に広がりを見せているものの、担当者による実務経験の不足などから、その効果にはまだ課題が残る状況が見受けられます。

本研修は、主要なCSR規格を参考に、要求事項に関する理解を深め、監査における具体的な手法や実践的なアプローチを身につけることにより、実務担当者が効果的な監査を実施できることを目的としています。監査を受ける立場であれば、実際の現場においてどのような対応・準備が必要になるかについて、理解を深めることができます。

ケーススタディーにより理解を深める、双方向型の研修です。最終日には試験が行われ、合格者には修了証が交付されます。

目的 実務担当者が効果的な監査を実施できるようになるために、要求事項に関する理解を深め、監査における具体的な手法や実践的なアプローチを身につける

主な対象者

- ・ CSR担当者、調達担当
 - ・ サプライヤーの監査、視察をする方
 - ・ 自社工場の監査、視察をする方
- *先行して開催している「サプライチェーン労働・人権監査（基礎）研修」を受講されていると、さらに有用です。

講師 田上 幸治 ロイドレジスタージャパン株式会社 主席CSR監査員

定員 最大20名

受講料 80,000円＋消費税（1名様2日間）

お申し込み ロイドレジスタージャパンのウェブサイトからご登録ください。

<https://loyds-register.co.jp/csr-supplychain-adv1/>

*同業者様からのお申し込みはご遠慮ください。

研修プログラム (予定)

■初日 (10:00-17:00)

<午前>

監査の基本
 児童労働・強制労働・健康と安全
 サイトツアー

<午後>

結社の自由・差別・懲戒
 労働者インタビュー

■2日目 (10:00-16:30)

<午前>

労働時間・報酬
 勤怠記録レビュー

<午後>

管理システム・是正処置
 関連法規制
 修了試験 (15:30-16:30)

* 2日間を通じて日本語での研修となります。

<お支払い方法>

※お申込日より7営業日以内に下記口座にお振込みください。

銀行振り込み明細書をもって領収書の発行に代えさせていただきます。

振込み銀行：三菱UFJ銀行横浜支店

当座預金：3984334

口座名義：ロイドレジスタージャパン (株)

監査経験豊富な講師による、2日間の充実した内容、かつ実践的な研修です。



<講師略歴>

田上 幸治

ロイドレジスタージャパン株式会社 主席CSR監査員



英国ハートフォードシャー大学 環境科学学部 環境マネジメント 学士課程修了。英国イーストアングリア大学 環境科学学部 環境アセス、監査及び管理システム 修士課程修了。エネルギー会社を退社後、学位を生かしてサステナビリティ関連の審査業務に従事。主に国連温室効果ガス排出削減プロジェクトの妥当性確認業務、温室効果ガスの排出量や排出削減量の検証業務を担当。さらに、SA8000及びRBA (当時EICC) 監査員資格を生かして、とくに社会性に重点を置いた企業へのサポートにも注力。具体的にはCSR規範に基づく模擬監査、ギャップアセスメント、内部監査員養成研修、インハウスセミナーなど多数実施。二者監査の分野において、

大手企業の海外サプライヤーCSR監査スキーム構築に深く関わったほか、国内サプライヤー監査を実務者として担当。また米IT大手の国内サプライヤーSR監査の中心メンバーとして初期から通算約100件 (300工数超) を担当。日本でサプライヤーCSR監査が普及する以前から監査実務に関わり、環境、労務、倫理、安全衛生のすべての分野に関し、関連法令や海外の事例にも精通。2018年9月より現職。

